

# 創

—第71回—

## 幸福度

新型コロナの第6波が猛威を振るっています。

そろそろ生活も政策もアップデートしていきましようとお話したものの、陽性者数を毎日発表し、無症状者まで隔離しなければならぬ現状では、とにかく感染予防対策を徹底する事、感染しても軽症で済むよう免疫力を高める事しかありません。

今回は特に県として初めての『まん延防止等重点措置』が適用されました。社会経済活動も規制され、あれこれ考える時間が増えていきます。

そこで最近毎日考えているのが『幸福度』について。簡単な話、自分は幸せです！と言える人がどれだけ居るかという指標です。『幸せ』のカタチはそれぞれ異なりますが、共通の物差しはあります。1人でも多くの人が幸



別府市長  
長野 恭紘

せを実感できるまちにしたい。それが私の究極の目的です。

経済のみ優先する訳ではありませんが、まちとして観光でもっと稼ぎ、所得が上がり、行政サービスも充実させ、ふるさと別府に帰ってきたという人が帰ってきて仕事に就き、心豊かな生活ができるようにしたい。

これからの課題はそれ以上に『見える化』し、市民総出でその目的に向かって一緒に取り組むシステムを構築する事ができるかです。成功している自治体は恐らくないで、ぜひじっくり構想を練り、必ず実現したいと燃えています。(2月7日執筆)



## フォトべっぴ



**今年も別府でスタート**—プロ野球東京ヤクルトスワローズの内川聖一選手にツーリズム別府特別大使を委嘱しました。内川選手は今年も自主トレーニングを別府市民球場で行っており「野球を通じてゆかりある別府をPRしたい」と意気込みを語りました。



**故郷への熱い思い**—2月1日、ロックバンド ジュン スカイ JUN SKY WALKER(S)のリーダーである森純太さんのツーリズム別府大使委嘱式をリモートで行いました。森さんは喜びの思いを述べ、同時にチャリティーピックの売上25万円を市に寄付しました。



**若き力**—1月18日、別府鶴見丘高校の吹奏楽部・書道部・そうまきやく 箏曲部が7月に行ったチャリティーコンサートの収益金9万円を市に寄付しました。各部の部長が市を訪れ「コロナ禍でも何か地域に貢献できることを考えた」と述べ、寄付金を市長に手渡しました。



**生活に潤い**—「竹の器と暮らす心豊かな生活」がテーマの作品展「くらしの中の竹工芸展」を竹細工伝統産業会館で開催しました。今年は大分県知事賞を受賞した首藤久美さんの作品をはじめ79人131点の造形豊かな作品が会場に並びました。